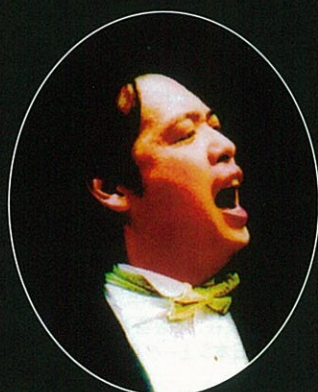


春日井市制70周年記念



2013 春日井市民第九演奏会



指揮
井村 誠貴



ソプラノ
飯田みち代



アルト
河村 典子



テノール
小貫 岩夫



バリトン
田中 勉

とき **2013年12月1日(日)**
15時開演(14時開場)

ところ **春日井市民会館**

入場料 **1,000 円** [全自由席] (消費税込)

指揮 ■ 井村 誠貴
ソプラノ ■ 飯田みち代 アルト ■ 河村 典子
テノール ■ 小貫 岩夫 バリトン ■ 田中 勉
管弦楽 ■ 春日井市交響楽団
合唱 ■ 春日井市民第九合唱団 合唱指導 ■ 松下 伸也
曲目 ■ シベリウス作曲 フィンランディア
 ベートーヴェン作曲
 交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

チケット取扱い場所 [10/3(木)より発売]

- 文化フォーラム春日井 (2F文化情報プラザ)
- 東部市民センター
- 春日井市役所 (2F 情報コーナー)
- ふれあいセンター (味美・高蔵寺・南部・西部)
- 坂下公民館

主催 / 春日井市・春日井市教育委員会
(公財) かすがい市民文化財団
春日井市民第九演奏会実行委員会

共催 / 春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団

後援 / 中部大学・中日新聞社

お問い合わせ：春日井市民第九演奏会実行委員会 TEL0568-51-5250 春日井市文化スポーツ部文化課 TEL0568-85-6079

指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にも、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜劇劇友協会におけるJ・シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年には年間オペラ公演回数で日本人では第4位に入るなどオペラ指揮者としての地位を確立。また同年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Co.の北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに大阪市音楽団、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を

集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォール」(市村正親)を皮切りに、「マイ・フェアレディ」(大地真央)、「レ・ミゼラブル」(山口祐一郎)、「ベテン師と詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安槻けい)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や、ダ・カーポ、佐々木秀実、夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。また、「浪速のモーツァルト:キダ・タロー」の作品の編曲も手掛け、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけでなく、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。2011年には、岐阜3000人の第九を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。クラシック音楽にとられない幅広いジャンル、年間200公演近くに及び実績と、繊細かつダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。関西音楽人のちから「集」代表。

ソプラノ 飯田みち代 Michiyo Iida

京都大学教育学部教育心理学科卒業。飯塚音楽コンクール大賞他多くのコンクールで受賞。オペラのレパートリーは広く、古典的オペラから、後期ロマン派やベルグなどの12音技法や無調のものまであり、主演のために「歌唱力抜群で、陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す、驚くべき才能」(音楽現代より)。「陰影にとんだ情感をしなやかな声に響かせ、精妙で濃密な世界を歌い上げる」(産経新聞よ

り)などと、絶賛されている。また、コンサート活動も活発で日本国内のみならず、イタリヤ・ドイツ・オーストリアにてもリトリサイタルや各種コンサートに出演している。「飯田みち代愛を歌う」『Michiyo Iida singt Richard Strauss und Alban Berg』(ブライザーレコード)「前田佳世子歌曲集」などがリリースされている。二期会会員。

アルト 河村 典子 Noriko Kawamura

東京音楽大学声楽演奏家コースで学び、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。二期会オペラ研修所第53期修了。オーストリアにてクリスタ・ルードヴィヒ女史 ドイツ歌曲・オペラによるマスタークラス修了。ドイツ・ヴァインハイムにて研鑽を重ねる。第12回長江杯国際音楽コンクール第4位。第3回近・現代音楽コンクール銅賞。第26回コンセル・ヴィヴァン新人オーディション優秀賞。平成23年に地元春日井市にてデビューリサイタルを開催。国際基督教大学及び春日井市民「第九演奏会」にてア

ルトソロを務める。「カルメン」タイトルロール、「ラインの黄金」エルダ、「ワルキューレ」シュヴェルトライテの役でオペラに出演。本年3月ドイツのハイデルベルクとヴァインハイムの教会から招かれ、ベルゴレージの「スターバト・マーテル」を演唱し新聞評で高い評価を得た。11月には、あらかわパイロイトにて第5回ワグナー音楽祭「トリスタンとイゾルデ」ブランゲーネ役で出演予定。名古屋二期会会員。日本演奏連盟会員。

テノール 小貫 岩夫 Iwao Onuki

同志社大学卒業後、大阪音楽大学卒業。音大在学中の95年「魔笛」タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムと共演しデビュー。この成功により翌年、ケムニッツ市立歌劇場(ドイツ)に招聘出演し地元紙より好評を得る。文化庁オペラ研修所第11期修了。98年度文化庁派遣でミラノへ留学。帰国後数々のコンクールで優勝・入選し、二期会、新国立劇場を中心に活躍。07/10年二期会「魔笛」タミーノ役(実相寺昭雄演出)、11年佐渡裕プロデュース「こもり」アルフレード役などで喝采を浴びた。コ

ンサートでも、主要オケとの共演で高い評価を得ている他、テレビ・ラジオにも度々出演。2010年から毎年、東京と大阪でリサイタルを開催し好評を得ている。本年2月、二期会公演「こもり」に主役アイゼンシュタイン役で出演し絶賛される。4月、天皇皇后両陛下御親覧の舞踏会で演奏しお言葉を賜る。6月、フィレンツェにてイタリア元首相夫妻主催のコンサートに招かれ出演。二期会会員。

バリトン 田中 勉 Tsutomu Tanaka

大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。第1回JSG国際歌曲コンクール入選聴衆特別賞受賞。第22回なにわ芸術祭 新人奨励賞。第20回音楽クリティック・クラブ本賞。大阪舞台芸術賞本賞受賞。大阪府和泉市文化功労賞。オペラの振り出しは「フィガロの結婚」その後「賢い女」「宮廷楽士長」「イタリアのトルコ人」「コシファン・トゥッテ」「道化師」「スザンナの秘密」「赤い陣羽織」「こもり」「ピーター・グライムズ」「子供と魔法」「カルメル会修道女の対話」「修禅寺物語」「ファルスタッフ」1990~1991年文化庁芸術家在外派遣研修員としてウィーン国立音楽大学に留

学。帰国後「椿姫」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「ハルカ」「蝶々夫人」「トロヴァトーレ」「アイダ」「夜間飛行」「フィデリオ」「源氏物語」「夕鶴」「エウゲニ・オネーギン」「道化師」「アドリアーナ・ルクヴルール」「沈黙」「モモ」「散華」「トゥーランドット」など。その他、オラトリオのソリストとしても全国的に活躍中。2010「リゴレット」の演唱に対しては文化庁芸術祭優秀賞を受賞。現在、大阪音楽大学教授、同大学院オペラ・歌曲研究室主任。関西歌劇団理事。日本シューベルト協会会員。

オーケストラ 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」春日井市民のオーケストラです。1990年(平成2年)11月に創立され、市内の音楽愛好家を中心に活動しています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・自営業者・主婦・学生など様々な職業をもった人からなる約50名です。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。特に今年は市

制70周年という記念すべき年にあたり、団員一同、第九演奏会にける情熱には熱いものがあります。私たちにとっての最大の喜びは、一人でも多くのおみなさまに演奏会にお越しいただき、音楽を聴く喜びを感じていただくことです。そのために「春日井で名曲の演奏を」と心がけています。今後も春日井市交響楽団に温かいご支援をお願い致します。

(団長：稲垣 徹)

合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、平成5年、春日井市市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を期に一般市民の公募により作られ、今年で結成20年になります。今年新たに加わる団員を含め、総勢250名にも達する大合唱団です。平均年齢は60歳を超えてやや高いのですが、数年前から中部大学混声合唱団の若い力の応援をいただき、元気に第九を歌っております。7月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、松下伸也先生の優しく丁寧な、また、時にはユーモアを交えた指導のもと、一生懸命練習に励んで参りました。慣

れないドイツ語の発音に苦勞しておりますが、第九のテーマである「人類はみな兄弟である」という精神をわれわれ自身も感じながら、マエストロ井村誠貴先生、4人のソリストの先生、それに春日井市交響楽団と一緒に、演奏会においでくださる皆様方に、少しでもその精神を感じとっていただくことと精一杯演奏いたします。今年は市制70周年ということで、第九の前に交響詩「フィンランディア」も歌います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(団長：須藤章夫)

《ベートーヴェン世界遺産!》

今年は富士山が世界文化遺産に登録され話題になりましたが、実は遡ること12年前に、ベートーヴェン第九交響曲の自筆譜も世界記録遺産となっています。世界遺産に登録された富士山の話でも触れられていますが、世界遺産はそれを保護する事が大きな目的です。つまり、この第九も守らなければならない義務があるのです。ベートーヴェンが表現したかったこと、第九の魅力を余すことなく伝えて行く事が私たちの使命です。

そんな第九を指揮していると、毎度指揮台で特別な感覚に遭遇します。何か別の魂が降りてくるような…。1824年のウィーン初演時の指揮台に立ったのは、ミハエル・ウムラフ。そしてもう1人、どうしても初演を指揮したかったベートーヴェン自身。二人の指揮者が指揮台に立ったそうです。ひょっとすると、第九を指揮している時は、ベートーヴェン先生が降臨しているのではないかと考えています。いえ!きっと先生だと確信しています。今年も春日井で、ベートーヴェン先生と二人で指揮台に立ちたいと思っています!どうぞ期待!!

音楽監督・指揮者：井村誠貴

※都合により出演者が変更になる場合があります。※就学前のお子様のお断り申し上げます。

※当日券は、販売できない場合もありますので、チケットは事前にご購入下さい。